

様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：元気で長生き！幡屋減塩プロジェクト

団体名	幡屋地区健康を守る会	事業費	201,502円
代表者	藤原富夫	補助金交付額	200,000円
構成員	1,368人	事業実施期間	R4.9.5～R5.2.28
協働のパートナー部署	健康福祉部健康推進課 身体教育医学研究所うんなん	その他連携先	島根大学地域包括ケア 研究センター

### 現状と課題

長年減塩の活動に取り組んでいるが、取り組みの成果がわからない現状があった。令和2年度から島根県の事業である健康寿命延伸強化プロジェクトのモデル地区になり、令和3年度に健康実態調査を行った。その結果、1日に尿中塩分摂取量は9.5gと県平均よりは良かったが、国、県の目標値には達していない、県と比べて家庭での味付けが外食より濃いと回答した人が多い現状にあった。脳卒中、高血圧予防をするためにも減塩に取り組む機運を高める必要がある。また、塩分計を活用し、実態を知り、減塩の具体的な取り組みを進める必要がある。

### 事業のねらい

県健康寿命延伸強化プロジェクトのモデル地区になり、地区内で罹患率の高い脳卒中、高血圧予防をするためにも減塩に取り組む機運を高める必要があると考え、減塩の意識を啓発するためにポスターや幟の作成、塩分計による塩分チェックなど日々減塩意識を持ちながら、食生活の見直しや改善が図れるよう取り組みを進める。

### 実施状況

#### ◇実施状況

減塩の意識を啓発するためにポスターや幟を作成した。  
丸倉山健康登山を行った。  
自治会ごとに健康座談会を開き、減塩のコツを学んだ。

#### ◇協働の内容（役割分担と成果）

自治会ごとに健康座談会を開き、市の保健師さんと今年度は減塩をテーマに、いつまでも元気で過ごすために今すぐできる減塩を地域で一緒に考え、楽しく実践につながるよう座談会で話し合いをした。

減塩の意識を啓発するためにポスターや幟を作成した。

#### ◇今後の改善点等

減塩意識を持って、食生活の見直しや改善が図れるよう取り組みを進める。

運動のためのウォーキングマップを作成し、健康増進を図る。



様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：コウヨウザン（広葉杉）視察

団体名	木次現代林業経営研究会	事業費	203,346円
代表者	西村光弘	補助金交付額	200,000円
構成員	29人	事業実施期間	令和4年10月31日～令和5年3月10日
協働のパートナー部署	雲南市農林振部林業畜産課	その他連携先	

### 現状と課題

近年の林業の生産活動が低迷しており、今後の林業を活性化させるために、新たな管理手法や新たな樹種の育成による山林経営を、先進的に実施する他団体から学び、雲南市で何ができるのか、何が適しているのかを、市役所林業部局と情報共有、意見交換しながら、雲南市における林業のあり方について考える必要がある。

### 事業のねらい

コウヨウザンの先進地を視察し、取り組み状況を学習し研究を行う。  
林家の皆さんに広くコウヨウザン（広葉杉）について知識を深める。

### 実施状況

#### ◇実施状況

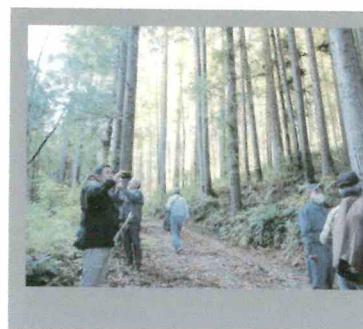
島根県中山間地域研究センター及び広島県立総合技術研所林業技術センターの研修に21名が参加した。

#### ◇協働の内容（役割分担と成果）

コウヨウザン（広葉杉）について林業畜産課から情報を提供頂き、実施は木次現代林業経営研究会で担当した。共通の認識を持つことが出来た。

#### ◇今後の改善点等

コウヨウザン（広葉杉）の情報収集を進め、研究を進める必要がある。





様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称： じねんにみそ ～小学校で手前みそ作り～

団体名	じねんにみそ	事業費	201,954 円
代表者	田中恭子	補助金交付額	200,000 円
構成員	10 人	事業実施期間	R4.11.1～R5.3.31
協働のパートナー部署	教育委員会教育総務課 社会教育課	その他連携先	

### 現状と課題

日本食や地域との繋がりの希薄化が徐々に進み、それと並行するようふるさと離れや食についての興味、知識を得る場が減ってきている事も課題の一つと捉え、日本食文化の源とも言える麴を使用したお味噌汁に注目し、味噌作り体験の場を設けました。

### 事業のねらい

- ・小学校でのお味噌づくり体験をとおして、地域の豊かさに気づき、生きていくうえで大切な食を自らの手で作ることの幸せや美味しさを感じてほしい。
- ・学校・家庭・地域・などとの連携による食育や教育活動のさらなる充実を図る事により、子供達の多様な学びが展開されることが期待できる。

### 実施状況

#### ◇実施状況

小学校での手前みそ作り体験

1月20日 加茂小学校5年生（51名）

2月21日 佐世小学校5年生（10名）

- ・R5年度の販売に向けお味噌約30kg仕込む。
- ・来期販売に向け味噌づくりキットを企画中。

#### ◇協働の内容（役割分担と成果）

・地元産の原料手配や自分達で収穫したお米を麴にしお味噌を仕込む事で、より自分事として興味を持って取り組む事が出来た。原料についての授業を行い、その中で生産者様などについても伝える事により地域の豊かさや、繋がりに気づききっかけができ、食育やふるさと教育を含めた多様な学びの場になった。

・当日は事前のプレスリリース活動のお陰でTVや新聞などの取材も多く、雲南市の多様な教育や食育が多方面に発信できた。

#### ◇今後の改善点等

来季に向け市内のまだ開催していない小学校で取り組んで行けるよう早めの時期から調整をし、お互いがよりスムーズに進行できる様に計画していきたい。



様式第10号の3の1（第19条関係）

事業の種類【協働で叶える市民活動促進事業】

事業の名称：映画「咲む」の上映等による聴覚障がい者への理解啓発事業

団体名	雲南市聴障者協会	事業費	349,118円
代表者	若槻幸夫	補助金交付額	200,000円
構成員	11人	事業実施期間	令和4年12月1日～ 令和5年3月29日
協働のパートナー部署	健康福祉部長寿障がい福祉課	その他連携先	手話サークルふたば

### 現状と課題

障がい者差別解消法が施行され、ろう者や手話言語について、社会の理解が進んでいるが、「聞こえない、聞こえにくい」ということによる障壁等は、無くなっていない。

### 事業のねらい

令和5年3月26日(日)に市民の皆さんを対象に「映画咲む」を上映し、また、当日に手話体験コーナーを設けたり、令和5年3月16日(木)～3月29日(水)まで手話啓発展示を行い、聴覚障がい者への理解を深めてもらう。

### 実施状況

#### ◇実施状況

- ・映画「咲む」の上映（3月26日）
- ・手話体験コーナー（3月26日）
- ・手話啓発展示（3月16日～29日）
- ・手話指導（阿用小学校）（12月7日）
- ・同上（頓原小学校）（2月8日）
- ・同上（三刀屋小学校）（12月4日、1月18日）

#### ◇協働の内容（役割分担と成果）

##### 【役割分担】

- ・提案団体の役割：映画上映等の企画、運営
- ・市の役割：手話啓発展示場所の提供、映画「咲む」の市報への掲載。配布等
- ・関連団体（手話サークルふたば）：手話協力、手話展示の協力、企画運営補助

##### 【成果】

- ・市を通じて周知、展示等を行ったことで、広く情報発信ができ、聴覚障がい者への理解が深まった。

#### ◇今後の改善点等

- ・聴覚障がい者への理解がさらに深まるために、継続的な啓発活動が必要である。

